

# 欧米言語文化研究 Fortuna (2009-) 総目次 (学会化後)

## —最新号から 20 号まで—

学会化以前の創刊号~19号までの目次については「ふぉーちゅん (1989-2008) 総目次」をご覧ください。尚、歴代編集委員については最終頁に記載されています。

## 欧米言語文化研究 Fortuna No. 32 (2021)

### [論 文]

#### アメリカ文学

*The Sound and the Fury*:

Emergent themes in Faulkner's depiction of Dilsey.....Yoshihiro Kato 3

#### イギリス文学

『ハード・タイムス』

—バウンダビー氏とグラッドクラインド氏の類似点と相違点—.....吉田 一穂 13

### [翻 訳]

コニングズビー (第4巻 第13章、第14章)

.....ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子訳) 29

コニングズビー (第4巻 第15章、第16章)

.....ベンジャミン・ディズレイリ (閑田 朋子訳) 40

人間それとも非人間 (5) .....ヴラジーミル・テンドリャコフ (内山 昭一訳) 53

故大石健太郎先生を偲ぶ.....奥井 裕 59

### [諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録 (2020年).....63

欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧.....67

欧米言語文化学会役員.....71

第12回年次大会報告.....72

欧米言語文化学会規約.....74

*Fortuna* 投稿規定.....76

執筆者紹介.....87

編集後記.....88

表紙の言葉.....小林 英美 91

# 欧米言語文化研究 Fortuna No. 31 (2020)

## [論 文]

### イギリス文学

同性愛と同性愛嫌悪そして両面価値的境界

—E・M・フォースター作「生垣の向こう側」……………高坂 徳子 25

### 比較文化

宮沢賢治とポール・デルヴォー

—絵画と文学をシュールレアリスムの視点から比較する—……………堀内 克丸 17

## [研究ノート]

### 英語教育

The Effects of a Pilot Extensive Reading Program on Increasing English Ability and Motivation to Read in English in Upper Mid-Level Private Senior High School in Japan……………Tekka Chang 41

## [翻 訳]

コニングズビー (第4巻 第11章、第12章)

……………ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子・閑田 朋子訳) 55

人間それとも非人間 (4) ……………ヴラジーミル・テンドリャコフ (内山 昭一訳) 71

## [エッセイ]

忘れられた作家たち (7)

—アンブローズ・ビアス、超絶の技巧—……………大石健太郎 81

[前名誉顧問 出口保夫先生追悼文] 鎌倉、遠く……………小林 英美 87

ふぉーちゅん (1989-2008)・欧米言語文化研究 Fortuna (2009-) 総目次……………89

## [諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録 (2019年)……………114

欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………123

欧米言語文化学会役員……………127

第11回年次大会報告……………128

欧米言語文化学会規約……………129

*Fortuna* 投稿規定……………131

執筆者紹介……………142

編集後記……………143

表紙の言葉……………小林 英美 146

# 欧米言語文化研究 Fortuna No. 30 (2019)

## [論 文]

### イギリス文学

#### 『ミドルマーチ』

— 〈妻として夫を援助すること〉とドロシアの二回の結婚……………吉田 一穂 3

E. M. フォスター作「<sup>マシーン</sup>機械が止まる」における「本」の象徴的意味について

……………高坂 徳子 17

### 英語教育

English Elementary Level Education in Japan: The need for Certifying ALTs

……………Tekka Chang 29

## [翻 訳]

コニングズビー (第4巻 第9章)……………ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子訳) 35

## [諸 報]

欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………49

欧米言語文化学会役員……………52

第10回年次大会報告……………53

欧米言語文化学会規約……………54

*Fortuna* 投稿規定……………56

執筆者紹介……………67

編集後記……………68

表紙の言葉……………小林 英美 72

# 欧米言語文化研究 Fortuna No. 29 (2018)

## [翻 訳]

コニングズビー (第4巻 第7~8章)……………ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子訳) 3

人間それとも非人間 (3) ……………ヴラジーミル・テンドリャコフ (内山 昭一訳) 15

## [諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録 (2017年) ……………23

欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………34

欧米言語文化学会役員……………37

第9回年次大会報告……………38

欧米言語文化学会規約……………39

*Fortuna* 投稿規定……………41

執筆者紹介	52
編集後記	53
表紙の言葉	小林 英美 55

## 欧米言語文化研究 Fortuna No. 28 (2017)

### [論 文]

#### 比較文学

Dickens and Poe	Takayuki Mizuno 3
-----------------	-------------------

### [翻 訳]

コニングズビー (第4巻 第6章)	ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子訳) 15
人間それとも非人間 (2)	ヴラジーミル・テンドリャコーフ (内山 昭一訳) 21

### [諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録 (2016年)	31
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧	41
欧米言語文化学会役員	45
第8回年次大会報告	46
欧米言語文化学会規約	47
<i>Fortuna</i> 投稿規定	49
執筆者紹介	60
編集後記	61
表紙の言葉	小林 英美 63

## 欧米言語文化研究 Fortuna No. 27 (2016)

### [論 文]

#### 英 語 学

構文の意味と言語内外の要因との相互作用—言語理論と教育の接点—	川崎 修一 3
---------------------------------	---------

#### イギリス文学

ハズリットと「抽象的な」ロンドン	藤井 晶宏 25
------------------	----------

#### アメリカ文学

Katherine Anne Porter, "Theft"における盗みを引き起こすもの	加藤 良浩 37
--	----------

### [翻 訳]

コニングズビー (第4巻 第5章)	ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子訳) 47
シャーロットをさがして	ニール・ゲイマン (横山 孝一訳) 53

人間それとも非人間 ……………ヴラジーミル・テンドリャコフ (内山 昭一訳) 65

### [エッセイ]

忘れられた作家たち (6) Rex Warner (9 March 1905-24 June 1986) ……………大石健太郎 77

### [諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録 (2015 年) ……………	83
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………	93
欧米言語文化学会役員……………	96
第7回年次大会報告……………	97
欧米言語文化学会規約……………	98
<i>Fortuna</i> 投稿規定……………	100
執筆者紹介……………	102
編集後記……………	103
表紙の言葉……………	小林 英美 108

## 欧米言語文化研究 Fortuna No. 26 (2015)

### [論 文]

#### 英 語 学

DP 内 there 生起仮説による場所句倒置構文の分析……………小堂 俊孝 3

#### イギリス文学

『メアリ・バートン』における父親と娘の階級意識……………吉田 一穂 25

「音楽家小説」としての *The Picture of Dorian Gray* ……………中村 仁美 41

#### アメリカ文学

キャサリン・アン・ポーター「花咲くユダの木」

—なぜ主人公ローラは再び眠ることを恐れるのか—……………加藤 良浩 53

#### 比較文学

Depictions of Hyperreality in *White Noise* and *Nineteen Eighty-Four* ……………Naoki Kondo 65

### [翻 訳]

コニングズビー (第4巻 第3章～第4章)

……………ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子・閑田 朋子訳) 81

小さなメモリアル……………ジェイソン・ジェリーズ (横山 孝一訳) 97

### [エッセイ]

忘れられた作家たち (5)

Katharine Burdekin (Kay Burdekin, Murray Constantine, 1896~1963) …大石健太郎 99

### [諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録(2014年) ……………	105
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………	111
欧米言語文化学会役員……………	114
第6回年次大会報告……………	115
欧米言語文化学会規約……………	116
<i>Fortuna</i> 投稿規定……………	118
執筆者紹介……………	120
編集後記……………	121
表紙の言葉……………小林 英美	124

## 欧米言語文化研究 Fortuna No. 25 (2014)

### 巻 頭 言

文学研究のタイプ論あるいは真冬の夜の夢……………	松田憲次郎 3
--------------------------	---------

### 特 別 寄 稿

二人のイギリス人……………	井内雄四郎 5
---------------	---------

### [論 文]

#### イギリス文学

ディケンズの『憑かれた男』を読む……………	水野 隆之 15
-----------------------	----------

#### 英語圏児童文学

Roles of “Mistress Mary, Quite Contrary” in <i>The Secret Garden</i> ……………	Mana Kawashima 21
---	-------------------

### [原典研究]

ウィリアム・サマセット・モーム「帰郷」(“Home”)を読む —教室で読む英文学(8)—……………	奥井 裕 33
「帰郷」……………ウィリアム・サマセット・モーム(奥井 裕訳)	54
サマセット・モームの「帰郷」(“Home”)について —人生を肯定するモームの温かい面がよく出た傑作—……………	奥井 裕 59

### [翻 訳]

コニングズビー(第3巻 第5章、第4巻 第1章~第2章) ……………	ベンジャミン・ディズレイリ(杉田 雅子・閑田 朋子訳) 67
「よそのもの」……………	ジェーン・ストーン(横山 孝一訳) 81

## [エッセイ]

忘れられた作家たち (4) L.P. ハートリー……………大石健太郎	91
『ふぉーちゅん』(1989-2008)・『欧米言語文化研究 Fortuna』(2009-) 総目次……………	95

## [諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録 (2013 年)……………	115
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………	122
<i>Fortuna</i> 投稿規定……………	125
欧米言語文化学会役員……………	127
第 5 回年次大会報告……………	128
執筆者紹介……………	129
編集後記……………	130
表紙の言葉……………小林 英美	132

# 欧米言語文化研究 Fortuna No. 24 (2013)

## [論 文]

### 英 語 学

英語聖書における外国語の影響……………佐藤 勝	3
-------------------------	---

### イギリス文学

コウルリッジの『生命論』—人と動物を分けるものは何か—……………直原 典子	15
『ダーバヴィル家のテスト』 —エンジェル・クレラとテストの過去—……………吉田 一穂	33

### 英語圏児童文学

『トムは真夜中の庭で』にみられる伝承童謡の影響……………山田 真	45
----------------------------------	----

## [原典研究]

ウィリアム・サマセット・モーム「アリとキリギリス」を読む —教室で読む英文学 (7) —……………奥井 裕	55
「アリとキリギリス」……………ウィリアム・サマセット・モーム (奥井 裕訳)	75
サマセット・モームの「アリとキリギリス」について —人生の意味について考えさせられる大人のための寓話—……………奥井 裕	79

## [翻 訳]

コニングズビー (第 3 巻 第 2 章～第 4 章) ……………ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子・大竹麻衣子・閑田 朋子訳)	87
--	----

乳母車	ロディ・ドイル (横山 孝一訳)	113
-----	------------------	-----

### [エッセイ]

忘れられた作家たち (3) エリザベス・テイラー	大石 健太郎	137
--------------------------	--------	-----

### [諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録 (2012年)	141
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧	147
<i>Fortuna</i> 投稿規定	152
欧米言語文化学会役員	154
第4回年次大会報告	155
執筆者紹介	156
編集後記	157
表紙の言葉	小林 英美 160

## 欧米言語文化研究 Fortuna No. 23 (2012)

### [論 文]

#### 応用言語学

英語場所句倒置構文をめぐる疑問	山田 七恵	3
-----------------	-------	---

#### イギリス文学

「双子」の想像力の行方 —エミリとアンの「ゴンドル」詩試論—	田村 裕二	19
『オリヴァ・トゥイスト』—二人の悪党たちとその末路—	吉田 一穂	33

#### アメリカ文学

キャサリン・アン・ポーター「昼酒」における主人公トンプソンの悲劇が示唆するもの	加藤 良浩	45
---	-------	----

#### 比較文学

異文化体験—ラフカディオ・ハーンの場合—	甲田 亜樹	59
文学による〈革命〉として—佐藤春夫「美しき町」とホイッスラーの芸術論	山中 千春	1

### [原典研究]

ローリー・コルウィン「パーカー先生」を読む		
—教室で読む英文学 (6) —	奥井 裕	75
「パーカー先生」	ローリー・コルウィン (奥井 裕訳)	93
ローリー・コルウィンの「パーカー先生」について		
—多様な解釈の可能性を秘めた珠玉の小品—	奥井 裕	99

## [翻 訳]

コニングズビー (第2巻 第5章~第7章・第3巻 第1章)

……………ベンジャミン・ディズレイリ (大竹麻衣子・杉田 雅子・閑田 朋子訳) 117

## [エッセイ]

忘れられた作家たち (2) レナード・メリック (1864. 2.21~1939. 8.7) ……大石 健太郎 145

『戦争大臣』のこと……………遠藤 徹 149

## [諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録 (2011年) ……………151

欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………154

*Fortuna* 投稿規定……………161

欧米言語文化学会役員……………163

第3回年次大会報告……………164

執筆者紹介……………187

編集後記……………188

表紙の言葉……………小林 英美 191

# 欧米言語文化研究 Fortuna No. 22 (2011)

## [論 文]

### 外国語教育学

The Use of Chance Devices in the Language Classroom……………Elena Ando 3

### イギリス文学

『オリヴァー・トゥイスト』における語り手とオリヴァーの関係について

……………水野 隆之 21

『マーティン・チャズルウィット』

—利己主義とその影響、そして国際著作権問題—……………吉田 一穂 33

### アメリカ文学

Being Politically Incorrect: Paula Vogel and Her Dramaturgy……………Mao Naito 45

## [原典研究]

ウィリアム・サマセット・モーム「約束」を読む

——教室で読む英文学 (5) ——……………奥井 裕 63

「約束」……………ウィリアム・サマセット・モーム (奥井 裕訳) 98

サマセット・モームの「約束」について……………奥井 裕 105

## [翻 訳]

- コニングズビー (第2巻 第2章～第4章)  
……ベンジャミン・ディズレイリ (閑田 朋子・杉田 雅子・大竹麻衣子訳) 113  
親友の手は離さない……………デボラ・シャウス (横山 孝一訳) 133

## [エッセイ]

- 忘れられた作家たち(1) ダヴィッド・ガーネット……………大石健太郎 137

## [諸 報]

- 執筆者紹介……………143  
年次大会・例会研究発表の記録 (2010年) ……144  
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………149  
*Fortuna* 投稿規定……………154  
欧米言語文化学会役員……………156  
第2回年次大会報告……………157  
編集後記……………158  
表紙の言葉……………小林 英美 161

# 欧米言語文化研究 Fortuna No. 21 (2010)

## 特別寄稿

- 由良君美氏と美術史……………木村 三郎 3

## [論 文]

### 英 語 学

- A Reconsideration of the Word Order <To Not Do>  
……………Tadao Nomura / Donald L. Smith 5  
Time-away 構文・結果構文・Way 構文に見られる構文間の関係……………阿部 明子 17

### イギリス文学

- 『バーナビー・ラッジ』における個人と群集……………吉田 一穂 33

### アメリカ文学

- “My Kinsman, Major Molineux” における一考察  
—Robin の独立への旅を中心に—……………西山 里枝 45  
“The Ambitious Guest” —未来への希望と忍び寄る運命—……………小松 良江 61  
キャサリン・アン・ポーター 「マリア・コンセプション」  
—主人公の曖昧な立場をめぐって—……………加藤 良浩 71

## [原典研究]

フィリパ・ピアス『ふしぎなヒマワリ』を読む	
—教室で読む英文学 (4) —	奥井 裕 87
『ふしぎなヒマワリ』	フィリパ・ピアス (奥井 裕訳) 116
『ふしぎなヒマワリ』について	奥井 裕 128

### [翻 訳]

コニングズビー (第1巻 第11章・第2巻第1章)	
……………ベンジャミン・ディズレイリ (閑田 朋子・杉田 雅子・大竹麻衣子訳)	135
神様のような人に出会う	リチャード・セルツァ (横山 孝一訳) 165
「つめてくれよ！」	ジェフリー・パットノウド (横山 孝一訳) 166
おじ貴のバイオリン	スティーヴン・バート (横山 孝一訳) 167

### [エッセイ]

神秘の島 “ジュラ” — 太古の遺跡の眠る島 —	大石健太郎 171
女優ジョディ・フォスターの軌跡	
— 父親のいない娘から夫のいない母親へ —	横山 孝一 177
『ネル』のこと	遠藤 徹 189

執筆者紹介	191
大会・例会研究発表の記録 (2009年)	192
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧	196
<i>Fortuna</i> 投稿規定	201
欧米言語文化学会役員	203
編集後記	204
表紙の言葉	小林 英美 207

## 欧米言語文化研究 Fortuna No. 20 (2009)

まえがき	植月恵一郎 1
------	---------

### 特別寄稿

英語力・注釈・作品鑑賞	行方 昭夫 5
サマセット・モームの『作家の手帳』の「序文」を読む	藤野 文雄 7

### [論 文]

#### イギリス文学

『鐘の音』の枠組みについて	水野 隆之 13
十九世紀前半の「公」のロンドン	
— ディケンズ、通りそしてコーヒーハウス —	藤井 昌宏 23

## 時事英語

ニュース英語の一考察—そのレトリックについて……………	田村 裕二	33
-----------------------------	-------	----

## 翻訳論

『翻訳』についての断片的考察……………	大石健太郎	47
---------------------	-------	----

### [原典研究]

ウィリアム・サマセット・モーム「物知り屋さん」を読む

—教室で読む英文学(3)—……………	奥井 裕	55
「物知り屋さん」……………	サマセット・モーム(奥井 裕訳)	91
「物知り屋さん」について……………	奥井 裕	98

### [翻 訳]

コニングズビー(第1巻 第8章～第10章)

……………ベンジャミン・ディズレイリ(閑田 朋子・大竹麻衣子・杉田 雅子訳)	105
幸運の写真……………ローリー・ヴォーター・アレン(横山 孝一訳)	123
小さなガラスのかけら……………ベティ・B・ヤングズ(横山 孝一訳)	125
アルフレッドのなぞの微笑み……………アラン・メイリー(横山 孝一訳)	128

執筆者紹介……………	133
大会・例会研究発表の記録(2008年)……………	134
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………	137
<i>Fortuna</i> 投稿規定……………	140
欧米言語文化学会役員……………	142
編集後記……………	143
表紙の言葉……………	小林 英美 146

## 歴代編集委員(学会化後)

学会化以前（19号から創刊号まで）の歴代編集委員については「ふおーちゅん（1989-2008）・総目次」をご覧ください。

### 第20号

編集代表 加賀 岳彦  
副編集長 大石健太郎、奥井 裕  
編集委員 大森 夕夏、近藤 直樹、中村 文紀

### 第21号

編集代表 加賀 岳彦  
副編集長 大石健太郎、奥井 裕  
編集委員 大森 夕夏、近藤 直樹、田村 裕二、中村 文紀

### 第22号・第23号

編集代表 加賀 岳彦  
副編集長 大石健太郎、奥井 裕  
編集委員 大森 夕夏、加藤 良治、近藤 直樹、田村 裕二、中村 文紀、野村 忠央

### 第24号・第25号

編集代表 加賀 岳彦  
副編集長 大石健太郎、奥井 裕  
編集委員 大森 夕夏、加藤 良治、近藤 直樹、田村 裕二、野村 忠央

### 第26号・第27号

編集代表 奥井 裕  
副編集長 大石健太郎、田村 裕二、野村 忠央  
編集委員 阿部 明子、大森 夕夏、加藤 良浩、川崎 修一、近藤 直樹、藤原 愛

### 第28号・第29号

編集代表 水野 隆之  
副編集長 大石健太郎、田村 裕二、野村 忠央  
編集委員 阿部 明子、大森 夕夏、奥井 裕、加藤 良浩、川崎 修一、近藤直樹  
藤原 愛

### 第30号

編集代表 水野 隆之  
副編集長 大石健太郎、田村 裕二、野村 忠央  
編集委員 阿部 明子、大森 夕夏、加藤 良浩、川崎 修一、近藤 直樹、藤原 愛

### 第 31 号

編集代表 藤原 愛

副編集長 阿部 明子、大石健太郎、中垣恒太郎

編集委員 加藤 良浩、川崎 修一、近藤 直樹、水野 隆之、吉田えりか

### 第 32 号

編集代表 藤原 愛

副編集長 阿部 明子、中垣恒太郎

編集委員 加藤 良浩、川崎 修一、近藤 直樹、水野 隆之、吉田えりか

## 歴代記念出版編集委員

### 10 周年記念論文集編集委員会（『英米文学の原風景—起点に立つ作家たち』（1999 年））

編集委員長 大西 章夫

編集副委員長 奥井 裕、小松 良江

編集委員 江藤あさじ、遠藤 徹、加賀 岳彦、小林 英美、小林 正弘、  
横田由起子、横山 孝一

### 20 周年記念論文集編集委員会（『実像への挑戦—英米文学研究』（2009 年））

編集委員長 植月恵一郎

編集副委員長 奥井 裕、閑田 朋子

編集委員 江藤あさじ、遠藤 徹、大石健太郎、大西 章夫、加賀 岳彦、  
小林 英美、近藤 直樹、小松 良江、中村 文紀、堀切 大史。  
水野 隆之、横山 孝一

### 30 周年記念出版編集委員会（『多次元のトピカ—英米の言語と文化』（2021 年））

編集委員長 植月恵一郎

編集副委員長 奥井 裕、野村 忠央

編集委員 大森 夕夏、加藤 良浩、近藤 直樹、藤原 愛